

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和元年 6 月 12 日	
愛 知 県 知 事 殿	
提出者	
住 所 〒 444-1323	
愛知県高浜市田戸町1丁目5番地3	
株式会社ジェイテクト 田戸岬工場	
氏 名 工場長 工藤 健太郎	
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）	
電話番号 0566-53-3611	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名 称	株式会社 ジェイテクト 田戸岬工場
事業場の所在 地	愛知県高浜市田戸町1丁目5番地3
計画期 間	平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
31 事業の種 類	31 輸送用機械器具製造業
②事業の規 模	製造品出荷額：38,058 百万円
③従業員 数	1,148 人

	④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり 図 1 自動車部品製造工程及び産業廃棄物発生工程フローシート 図 2 廃水処理フローシート 図 3 廃棄物処理フロー 図 4 田戸岬工場 廃棄物置場配置図
--	-----------------	--

(日本工業規格 A 列 4 番)

(第 2 面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

- ・ 推進責任者 ・ ・ ・ 廃棄物部会または工場環境保全委員会で審議された事項に基づき工場の廃棄物低減活動を統括する
- ・ 部会長・事務局 ・ ・ ・ 廃棄物低減実績の確認
- ・ 管理者・推進者 ・ ・ ・ 廃棄物低減活動の実施・推進

添付資料

図 5 田戸岬環境管理システム組織体系図 (廃棄物)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

1 現状	【前年度 (30 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙のとおり 表 1 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
2 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出 量	t	t

		(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり 表1 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項
産業廃棄物の分別に関する事項		
1	現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、廃プラスチック、金属屑、ガラス・陶磁器屑、木屑はそれぞれ分類し保管している。また廃油は発生時に処理委託している。
3	計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチックの中から更に再利用(売却)できるように分別を推進する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				
1	現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	-	-
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
		(これまでに実施した取組) 特に実施していない		
2	計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	-	-
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
		(今後実施する予定の取組) 実施する予定なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				
1	現状	【前年度（ 平成 30 年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	金属屑
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t

	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	2027 t	56.0 t
	(これまでに実施した取組) コンプレッサーの廃熱を利用し、汚泥の脱水効率の向上を行なう		
2 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	金属屑
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	2,047t	56.7 t
	(今後実施する予定の取組) 取り代削減を行い 減量する金属屑をさらに増やし、更なる廃棄物の減量を計る		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
1 現状	【前年度（ 30 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	－	－
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(これまでに実施した取組)		
	昨年度実績なし		
2 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	－	－
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(今後実施する予定の取組)		
	昨年度実績なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
1 現状	【前年度（30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙のとおり 表2 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 【前年度（平成30年度）実績】		

（第5面）

2 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処 理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処 理委託量	t	t

		(今後実施する予定の取組) 別紙のとおり 表3 産業廃棄物の処理の委託に関する事項【目標】
※事務処理欄		

図1 自動車部品製造工程及び産業廃棄物発生工程フローシート

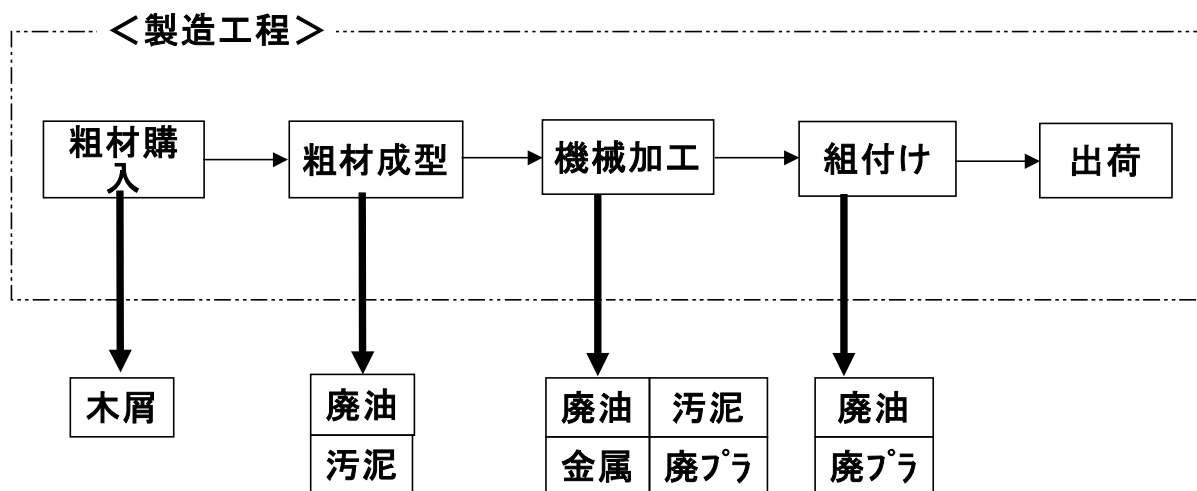


図2 排水処理フローシート

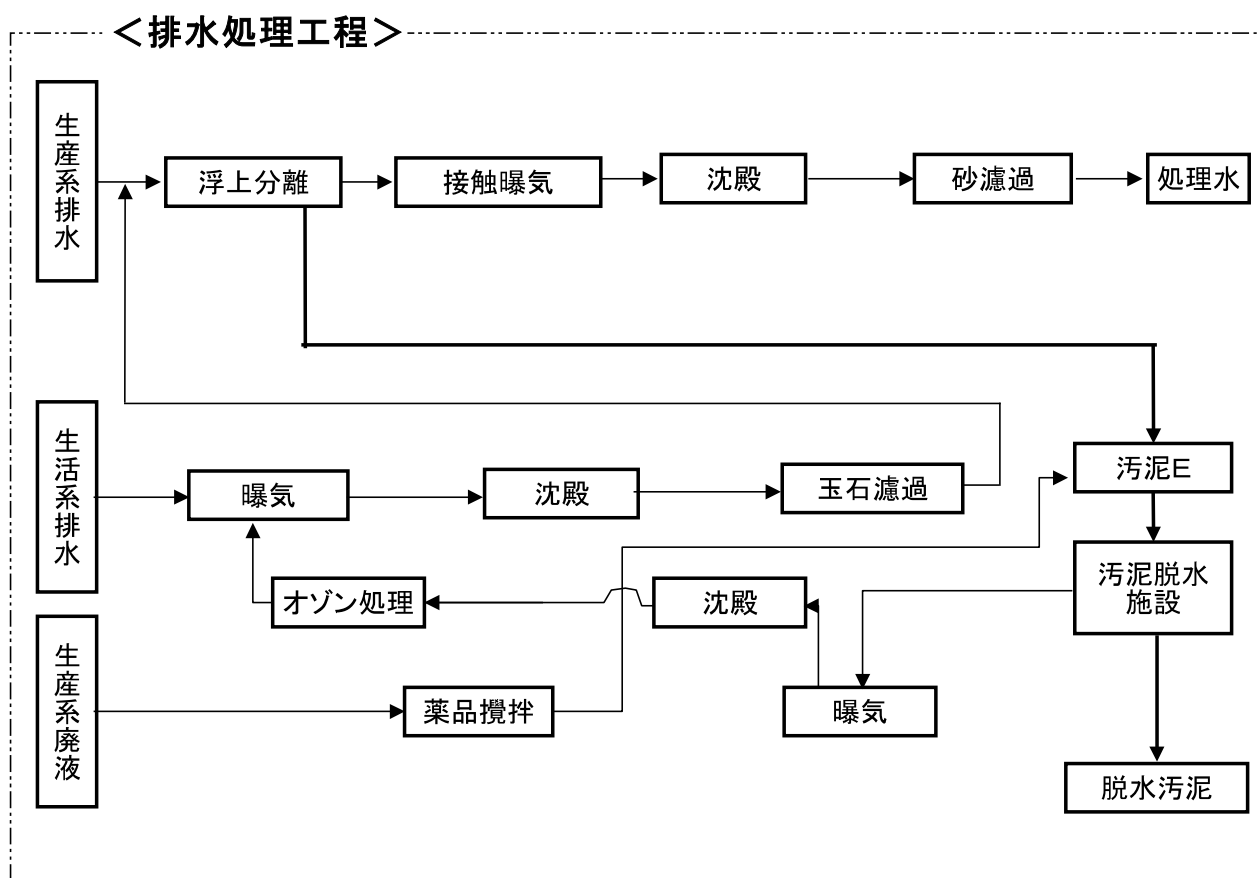


図3 廃棄物処理フロー図(産業廃棄物)

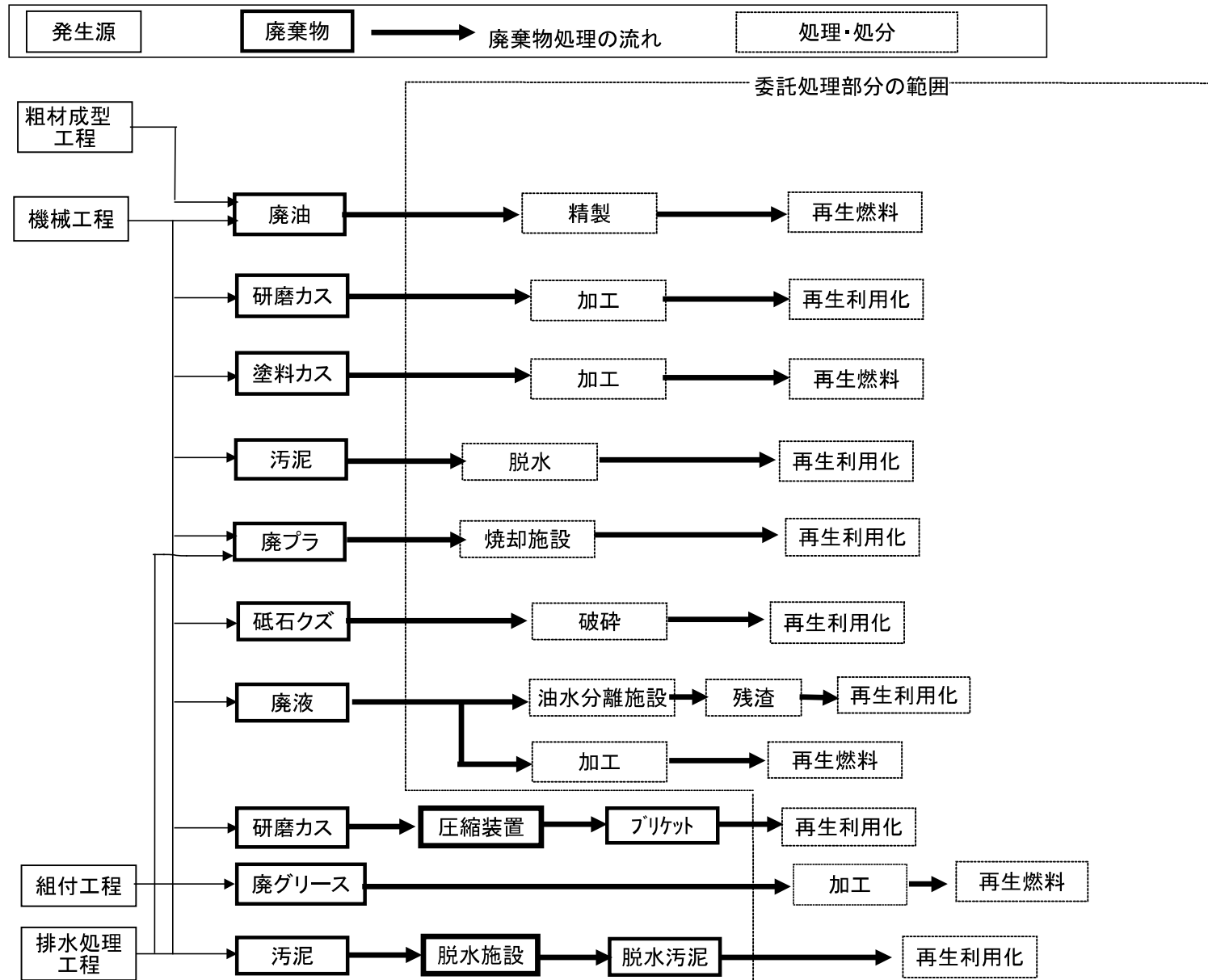


図4 田戸岬工場 廃棄物置場配置図

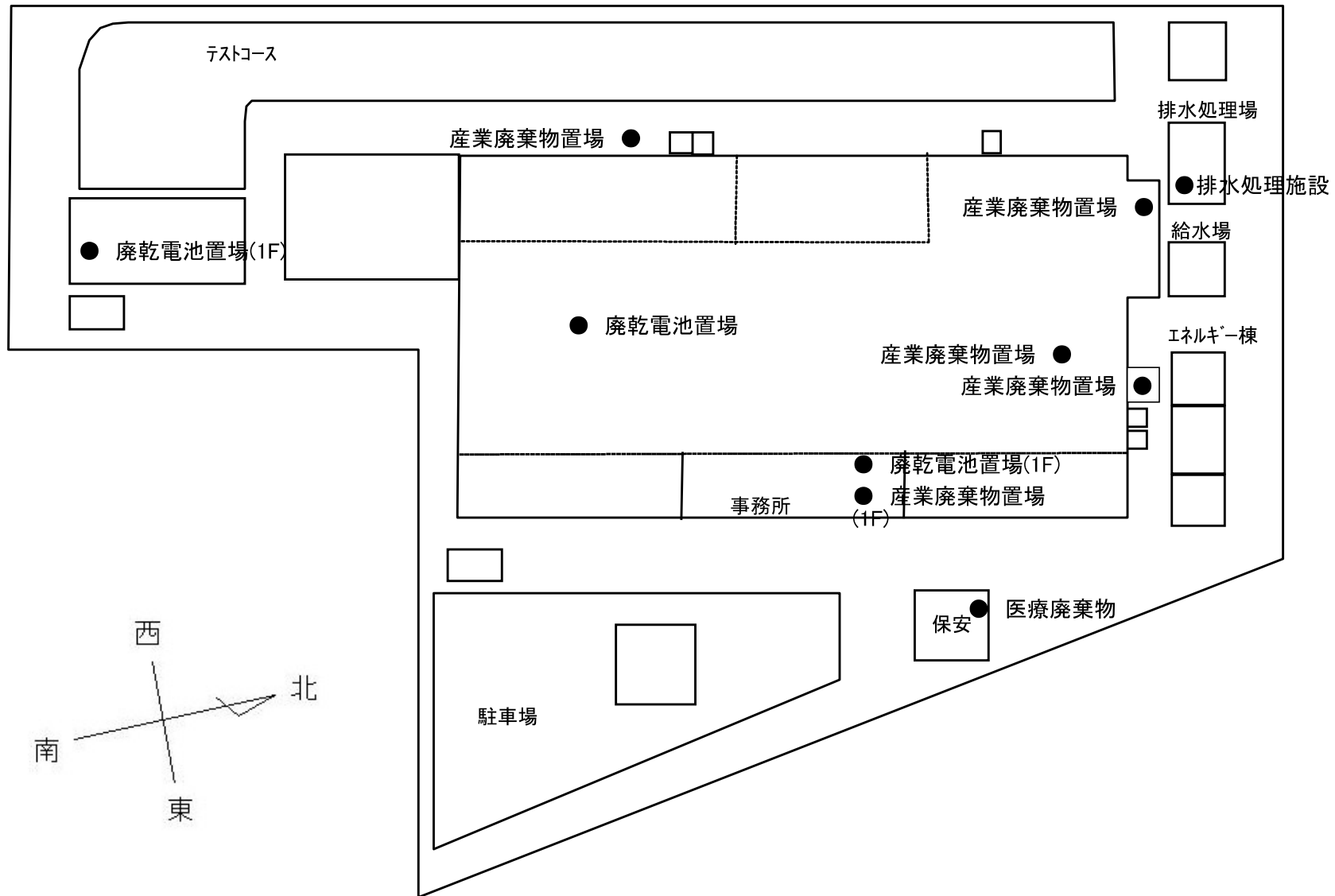


図 5 田戸岬環境管理システム組織体系図

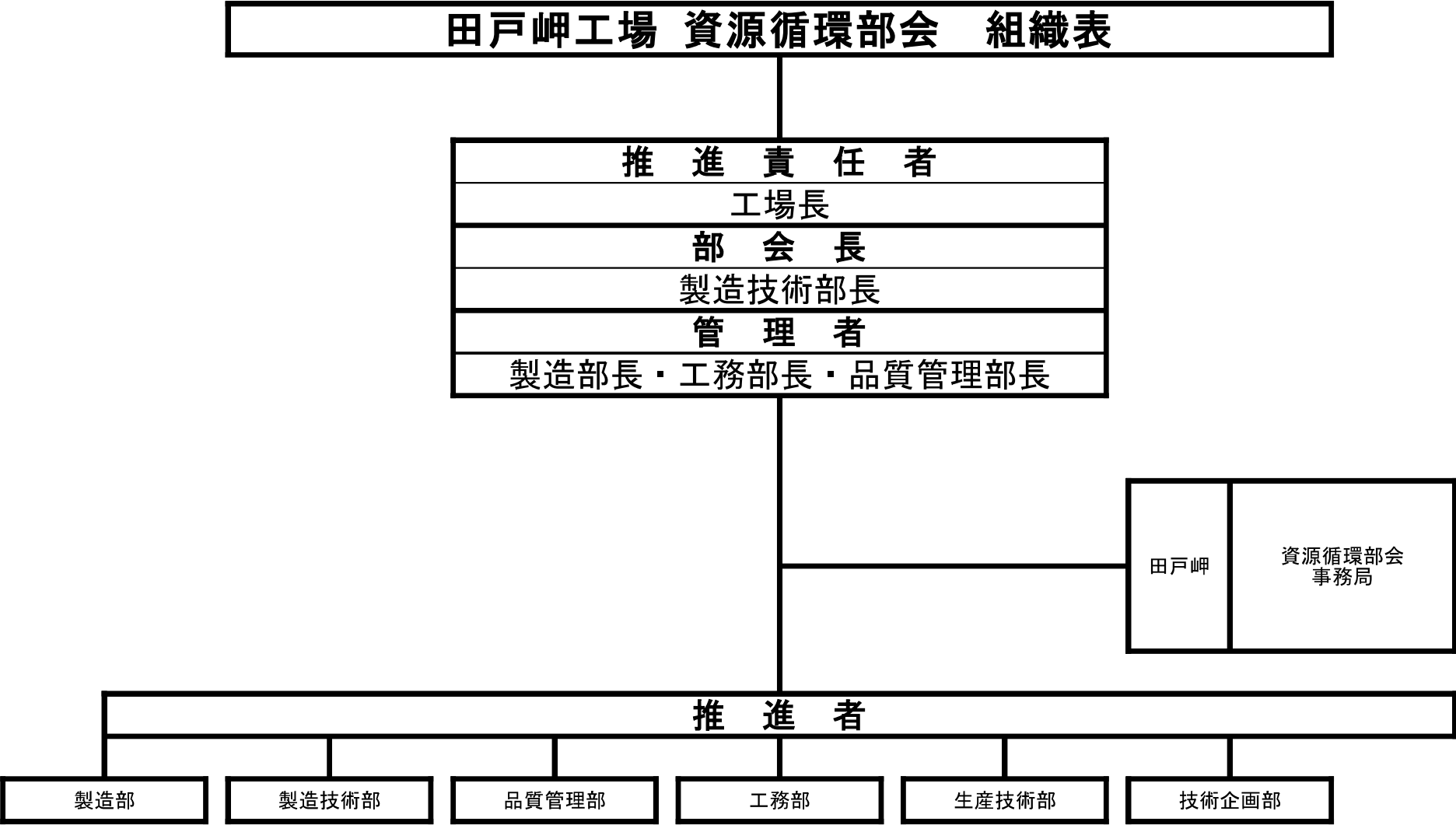


表1 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
	①現状	【前年度（平成30年度）実績】	
		産業廃棄物の種類	廃油
		排出量	176 t
		産業廃棄物の種類	汚泥
		排出量	2187 t
		産業廃棄物の種類	廃プラ
		排出量	82 t
		産業廃棄物の種類	金属屑
		排出量	92 t
		産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器屑
		排出量	6 t
	②計画	産業廃棄物の種類	木屑
		排出量	7 t
		産業廃棄物の種類	廃酸
		排出量	0.036 kg
		(これまでに実施した取組)	
		生産工程のショットカスを分別し有価物化することにより排出量の減量を図った。	
		【目標】	
		産業廃棄物の種類	廃油
		排出量	174 t
		産業廃棄物の種類	汚泥
		排出量	2165 t
		産業廃棄物の種類	廃プラ
		排出量	81 t
		産業廃棄物の種類	金属屑
		排出量	91 t
		産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器屑
		排出量	5.9 t
		産業廃棄物の種類	木屑
		排出量	6.9 t
		産業廃棄物の種類	廃酸
		排出量	0 kg
		(今後実施する予定の取組)	
		金属屑（研磨粉）の有価物化を推進し、更なる減量を図る。	

表2 産業廃棄物の処理の委託に関する事項【前年度(平成30年度)実績】

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		廃油
	全処理委託量		176 t
	優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への処理 委託量 認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処理 委託量	176 t	160 t
		176 t	160 t
		0 t	0 t
		0 t	0 t
		0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		廃プラスチック
	全処理委託量		82 t
	優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への処理 委託量 認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処理 委託量	82 t	20 t
		82 t	36 t
		0 t	0 t
		0 t	0 t
		0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		ガラス・陶磁器屑
	全処理委託量		6.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への処理 委託量 認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処理 委託量	0.1 t	7 t
		6.0 t	7 t
		0 t	0 t
		0 t	0 t
		0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		廃酸
	全処理委託量		0.036 kg
	優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への処理 委託量 認定熱回収業者以外の熱 回収を行う業者への処理 委託量	0.036 kg	
		0.036 kg	
		0 kg	
		0 kg	
		0 kg	
	(これまでに実施した取組)		
	生産工程のショットカスを分別し有価物化することにより 処理委託量の減量を図った。		

表3 産業廃棄物の処理の委託に関する事項【目標】

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		廃油
	全処理委託量		174 t
		優良認定処理業者への処理委託量	174 t
		再生利用業者への処理委託量	174 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
	産業廃棄物の種類		廃プラスチック
	全処理委託量		81 t
		優良認定処理業者への処理委託量	81 t
		再生利用業者への処理委託量	81 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
	産業廃棄物の種類		ガラス・陶磁器屑
	全処理委託量		5.9 t
		優良認定処理業者への処理委託量	0.2 t
		再生利用業者への処理委託量	5.9 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
	産業廃棄物の種類		廃酸
	全処理委託量		0 kg
		優良認定処理業者への処理委託量	0 kg
		再生利用業者への処理委託量	0 kg
		認定熱回収業者への処理委託量	0 kg
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 kg
	(今後実施する予定の取組)		
	金属屑（研磨粉）の有価物化を推進し、更なる減量を図る。		